

2020年度事業計画

<公益財団法人電通育英会の事業目的の確認（定款第3条より）>

この法人は、優秀でありながら経済的理由により修学が困難な、日本国内で学ぶ大学生・大学院生に対する奨学金の貸与・給付及び留学生に対する奨学金の給付を行うとともに、育英に関する調査研究・情報提供および大学生等の人材育成活動に対する助成事業を行い、もって社会を牽引する人材を育成することを目的とする。

<2020年度事業計画について>

1-1 大学生への奨学金支給事業 <公益事業1>

(1) 大学生への奨学金給付（高校時予約採用）

2020年度の大学進学予定者より、「一般枠」および「芸術枠」の区分を廃止して、2019年4月から6月に募集を行い、奨学生選考委員会の書類選考、選考委員による面接選考を経て、92名（両親がいない1名含む）を予約採用の内定者とした。一浪生の17名（一般枠15名・芸術枠2名）を含めた109名の内定者のうち、2020年4月に当財団指定の大学に入学した者に対し、奨学金の給付を開始する。

<主な変更点>

- ・給付対象条件の変更（家計の課税所得の上限を350万円未満まで引き上げ）
- ・募集人数／採用者数の拡大（募集人数90名/採用者数100名）
- ・募集対象高校の追加（150校から154校に拡大）
- ・指定大学の追加（62校から83校に拡大）

<2020年度給付者予定総数> ※2020年度採用（1年生）は想定人数。

	一般枠	芸術枠	震災支援枠	合計
2017年度採用（4年生）	67名	8名	14名	89名
2018年度採用（3年生）	71名	6名	—	77名
2019年度採用（2年生）	90名	2名	—	92名
2020年度採用（1年生）	95名		—	95名
大学1～4年生合計	339名		14名	353名

※震災支援枠は、2017年度採用をもって終了。

※2020年度採用（2019年募集）より、一般枠と芸術枠を統合。

★大学生 奨学金（入学一時金30万円・受験等助成金10万円を含む）

2019年度予算	2019年度実績見込	2020年度予算
3億2,798万円	3億2,966万円	3億3,502万円

(2) 大学奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付

奨学生が広い視野を持ち、将来、グローバルに活躍できる人材として成長する一助となることを目的に、2014年度に「海外留学・活動支援制度」を開始。2020年度からはより活用しやすい制度に改訂し運用を行い、制度の利用促進を図る。

★大学生 海外留学・活動支援金

2019年度予算	2019年度実績見込	2020年度予算
850万円	875万円	1,500万円

1-2 大学院生への奨学金給付事業 <公益事業1>

(1) 大学院奨学生への奨学金給付

2020年度の大学院進学予定者に対する募集を2019年3月に行い、書類選考および面接選考の結果、16名を内定とした。このうち2名は最終的に就職を選択したため、その後内定を辞退。また1名が10月に早期進学をしたため、2020年4月に当財団指定の大学院に進学する者は13名となる。新規進学者に対して、大学院修士課程2年間、月額8万円の奨学金給付を開始する。

2020年度の給付者総数は、大学院2年生となる9名（早期進学の1名含む）と合わせて、22名（2019年度より7名増）。

また、2021年4月に大学院進学希望者の募集・選考作業は、下記のとおり実施する。
今回の募集より、対象となる大学3年生が文系と理系の学生となるため、採用数をこれまでの10名程度から30名程度に拡大する。

- ①給付対象： ・当財団の大学奨学生で、書類提出やセミナー参加などの奨学生の義務を果たしていること
・キャリア形成上、修士課程への進学に必然性が認められる者
・成績優秀で、かつ学費の援助が必要と認められる者
- ②給付金額： 月額 80,000円、給付期間は2年以内とする
- ③採用者数： 30名程度
- ④選考方法： 大学3年生を対象に2020年1月に募集を開始（2月末締切30名の応募あり）。
書類選考と面接選考を経て、4月に理事長が内定決定。
翌年4月に当財団指定の大学院に進学した者を奨学生として採用。

★大学院生 奨学金

2019年度予算	2019年度実績見込	2020年度予算
1,344万円	1,196万円	2,112万円

(2) 大学院奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付

奨学生が広い視野を持ち、将来、グローバルに活躍できる人材として成長する一助となることを目的に、2014年度に「海外留学・活動支援制度」を開始。2020年度も海外留学・活動を希望する大学院奨学生に対して支援金を給付する。

★大学院生 海外留学・活動支援金

2019年度予算	2019年度実績見込	2020年度予算
150万円	30万円	150万円

<参考>今後3年間の奨学生数の推移予測（2019年度は4月時点の実数）

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
大学奨学生①	11年目 348名	12年目 353名	13年目 364名	14年目 387名
(一般枠)	297名	339名	364名	387名
(芸術枠)	20名			
(震災支援枠)	31名	14名	—	—
大学院奨学生②	7年目 14名	8年目 21名	9年目 43名	10年目 60名
合計①+②	366名	374名	407名	447名

2. 奨学生対象のセミナー等の実施 <公益事業1>

(1) 奨学生全員に対する「奨学生の集い」の実施

毎年恒例の「奨学生の集い」を、2020年度も現役奨学生全員（約370名）、OBOGの参加希望者、大学関係来賓等が一堂に会して、11月に東京で開催する。

・講演：未定

・開催日：2020年11月14日（土） ・会場：電通ホール

★「奨学生の集い」関連費 *奨学生の交通費含む

2019年度予算	2019年度実績見込	2020年度予算
1,260万円	1,159万円	1,399万円

(2) 大学1・2年生セミナーの実施

大学1年生と2年生に対して、9月に1泊2日の合宿形態で実施する。汎用的スキルや課題解決力の育成などを目的にグループ討議、プレゼン演習等を行い、次世代人材を育成する一助となるよう支援する。なお、カリキュラムについては、次世代リーダーシップ人材育成の観点から検討を行う。

- ・1年生対象：コミュニケーション研修、2年生対象：課題解決力養成研修
- ・開催日：大学1・2年生ともに、2020年9月19日（土）～20日（日）
- ・会場：湘南国際村センター（神奈川県葉山町）

★「大学生1・2年生セミナー」関連費 *奨学生の交通費含む

2019年度予算	2019年度実績見込	2020年度予算
1,140万円	1,158万円	1,319万円

(3) 大学院生・大学3年生セミナーの実施

大学院生および大学3年生に対して、セミナーを8月に1泊2日の合宿形態で実施する。2017年度から大学院生・大学3年生同時期に実施し、相互に交流する機会も設けている。

- ・大学院生：奨学生の研究紹介、講師による講演、グループ討議等
- ・大学3年生：自己分析とキャリアデザイン研修
- ・開催日：大学院生・大学3年生ともに、2020年8月22日（土）～23日（日）
- ・会場：クロス・ウェーブ船橋（千葉県船橋市）

★「大学院生・大学3年生セミナー」関連費 *奨学生の交通費含む

2019年度予算	2019年度実績見込	2020年度予算
853万円	752万円	910万円

(4) 修了生交流会

2021年3月に卒業・修了予定の大学・大学院奨学生を対象として実施。奨学生の卒業・修了をお祝いするとともに、その後の各界での活躍を期待して、当財団の選考委員ご出席のもと、「修了生交流会」を2021年3月に東京で開催する。

- ・開催日：2021年3月13日（土）
- ・会場：帝国ホテル

★「修了生交流会」関連費 *修了生の交通費含む

2019年度予算	2019年度実績見込	2020年度予算
596万円	60万円	1,150万円

※本年3月14日（土）に開催を予定していた2020年修了生交流会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のリスクを回避するために開催日を延期した。（9月12日（土）開催予定）

3. 大学教育における人材育成に役立つ調査データ・情報の提供 <公益事業1>

(1) 会報誌「IKUEI NEWS」の発行（年4回）

奨学生や高等教育関係者への有益な情報提供を目的に、会報誌「IKUEI NEWS」を年4回発行。2018年4月発行号よりリニューアルし、2019年度は「変わる社会とこれからのコミュニケーション」をテーマに展開した。奨学生（OBOG含む）、大学関係（学長・広報）、対象高校に加え、全国の図書館、新聞社、教育研究機関等に向けて各号約4,500部を配布。

2020年度は、「私たちのブレイクスルー」をテーマとし、各号の特集は以下のとおり。

	発行月	特集テーマ	取材大学
Vol. 90	2020年4月	学びの境界を取り払え（仮）	東北大学 他
Vol. 91	2020年7月	知恵をカタチに変えてゆけ（仮）	未定
Vol. 92	2020年10月	“人間力”を磨け（仮）	未定
Vol. 93	2021年1月	「はたらく」を見極めろ（仮）	未定

なお、Vol. 90より、新企画としてインタビュー方式の連載「#リーダーシップを考えよう」、奨学生たちが自分の大学を紹介する「勝手にキャンパスNAV I」をスタート。

★会報誌関連費

2019年度予算	2019年度実績見込	2020年度予算
3,100万円	3,082万円	3,492万円

(2) 調査研究

2020年度は、以下2件の調査研究を実施する予定。

- ① 桐蔭学園（理事長/トランジションセンター所長/桐蔭横浜大学 特任教授 溝上慎一氏）と共同で実施するトランジションに関する以下の調査研究
「高校生・大学生・成人を対象とした、学校から仕事・社会へのトランジション（接続）調査研究」
- ② 立教大学（経営学部 中原淳研究室）と共同で実施するトランジションに関する以下の調査研究
「大学生の人材育成に関わるリーダーシップ教育の効果を明らかにする縦断研究・追跡調査」

★調査関連費

2019年度予算	2019年度実績見込	2020年度予算
2,300万円	2,077万円	1,800万円

(3) 「リーダー育英塾」

2008年より2017年まで10年間実施してきた「大学生研究フォーラム」を発展させ、「高大社連携を意識したトランジション教育改革」を高等学校・大学で推進していく「次世代リーダー」の育成を目的に、2018年よりワークショップ形式の「リーダー育英塾」をスタートさせ、2019年は第2期生32名を迎えて実施した。

2020年度の第3期リーダー育英塾の開催概要は以下のとおり。

<第3期リーダー育英塾>

- ・日程／2020年8月16日（日）～18日（火）<2泊3日の合宿>
- ・会場／クロス・ウェーブ船橋（船橋市）
- ・募集対象者と人数／教育現場を持っている、高校または短期大学・大学の関係者30名
- ・募集方法／3月下旬より電通育英会ホームページにて募集を開始予定（事前課題有）。
応募締め切りは4月末予定。選考は下記講師およびファシリテーター。
- ・参加費／ 無料（ワークショップ・宿泊・食事・懇親会に関わる費用）
※現地までの交通費、会場でのOA備品等のレンタル等、個人に関わるものは自己負担
- ・講師およびファシリテーター／
溝上 慎一（桐蔭学園 理事長／桐蔭横浜大学 特任教授）、中原 淳（立教大学 経営学部 教授）、畑野 快（大阪府立大学 准教授）、舘野 泰一（立教大学 特任准教授）、田中 聡（立教大学 助教）、武田 佳子（桐蔭学園 トランジションセンター准教授）、登本 洋子（桐蔭学園 情報科教諭）、町支 大祐（帝京大学大学院 講師）

<2020年1月1日現在 順不同>

また、リーダー育英塾の成果を共有するカンファレンスを以下のとおり開催する。

※2019年度開催予定（10月12日（土））のカンファレンスは台風の影響により中止となったため、本年度は第1期と第2期の成果を合わせて報告する内容とする。

<リーダー育英塾カンファレンス2020>

- ・日程／2020年10月4日（日）
- ・会場／電通ホール
- ・内容／基調講演および第1期および第2期リーダー育英塾OBOGによる成果報告と
ディスカッション
- ・募集対象者／教育関係者および企業の人材育成関係者等、200名程度
- ・募集方法／電通育英会ホームページにて募集予定

<OBOG活動事例集>

第1期、第2期リーダー育英塾の参加者が教育現場で実践している活動取材し、ホームページ等で公開する。

★リーダー育英塾関連費

2019年度予算	2019年度実績見込	2020年度予算
1,325万円	812万円	1,500万円

4. 学生を対象とする次世代リーダーの育成活動に対する資金助成<公益事業2>

学生を対象とした人材育成を目的として、インターンシップ、ボランティア活動、その他セミナー活動などを行っている大学内組織や民間NPO団体を主な対象として、広く募集。2020年度の募集より、「次世代リーダーの育成」に資する活動を助成対象とし、関東地区（東京、神奈川、埼玉、千葉）の団体に加え、関西地区（大阪、京都、兵庫、滋賀）の団体に地域を拡大した。募集の結果40件の応募があり、助成団体選考委員会にて書類選考・面接選考を実施し、以下の12団体を採択した。（上限100万円）

★人材育成活動助成事業関連費

2019年度予算	2019年度実績見込	2020年度予算
1,367万円	1,234万円	1,367万円

2020 年度助成団体（12 団体）

NPO 法人 アントレプレナーシップ開発センター	高校生の国際競技 「グローバル・エンタプライズ・チャレンジ」
一般社団法人 HLAB（エイチラボ）	HLAB TOKYO 2020 SUMMER SCHOOL 高校生/大学生/海外大学生による、リベラル・ アーツ・コンセプトの合宿型サマースクール
一般社団法人 学生自主研究推進機構	学生の自主研究発表会 Jamboree サイエンスをテーマにした 研究室や大学を超えた研究の場
学生団体 GEIL *継続	学生のための政策立案コンテスト 2020
関西大学ボランティアセンター	琵琶湖ツーリズム 滋賀県琵琶湖岸での外来植物駆除活動及び 清掃活動
NPO 法人 CLACK	貧困家庭の高校生へのプログラミング教育
グローバルクリエイティブ リーダーズソサエティ（GCLS）	第 1 回 GCLS プレゼンコンペティションの開催 ICT を活用した社会課題の解決
NPO 法人 研究実験施設・環境安全教育研究会	高校生による環境安全とリスクに関する自主研 究活動支援事業（化学物質、生物・バイオ、環境）
一般財団法人 出版文化産業振興財団 *継続	WATERRAS BOOK FES 2020 「本」を介した学生と地域とのコミュニティ
中央大学ボランティアセンター	東日本・熊本・真備の経験を新たな被災地に活 かす「学生ボランティア世代間継承」の仕組み づくり
平野みんな食堂ネットワーク	平野みんな食堂パイオニア みんな食堂を拠点とした大学生の学習体験
ワンダリングチャレンジ神奈川 実行委員会	ワンダリングチャレンジ神奈川 2020 台湾発の次世代リーダー輩出のためのプラット フォーム構築

2020 年度主要行事 年間予定表

	日 程	場 所
2020 年		
第 3 2 回理事会 (決算)	6 月 9 日 (火) 11 : 00～	帝国ホテル 楓の間 (予定)
第 1 0 回定時評議員会	6 月 24 日 (水) 11 : 00～	帝国ホテル 楓の間 (予定)
大学奨学生選考委員会	7 月上旬	電通銀座ビル 8F 会議室
第 3 期「リーダー育英塾」	8 月 16 日 (日) ～18 日 (火)	クロス・ウェーブ船橋
大学院生・大学 3 年生セミナー	8 月 22 日 (土) ～23 日 (日)	クロス・ウェーブ船橋
修了生交流会 (2019 年度延期分)	9 月 12 日 (土) 11 : 30～	帝国ホテル 孔雀南の間
大学 1・2 年生セミナー	9 月 19 日 (土) ～20 日 (日)	湘南国際村センター
リーダー育英塾カンファレンス 2020	10 月 4 日 (日)	電通ホール
第 2 2 回資産運用委員会	10 月 16 日 (金) 13:30～	電通銀座ビル 4F 会議室
第 3 3 回理事会 (資産運用等)	11 月 13 日 (金) 11 : 00～	電通銀座ビル 8F 会議室
奨学生の集い 2020	11 月 14 日 (土)	電通ホール
2021 年		
助成団体選考委員会	1 月下旬～2 月上旬	電通銀座ビル 4F 会議室
第 2 3 回資産運用委員会	2 月 19 日 (金) 13:30～	電通銀座ビル 4F 会議室
修了生交流会	3 月 13 日 (土) 12:00～	帝国ホテル 孔雀南の間
第 3 4 回理事会 (予算)	3 月 23 日 (火) 11 : 00～	帝国ホテル